

デジタルコンテンツ推進委員会発足について

1) デジタルコンテンツ推進委員会発足の背景とその意図

デジタルコンテンツ推進委員会はマルチメディア推進委員会が発展して誕生いたしました。

マルチメディア推進委員会を発足させた当時はパッケージメディアとしてCD-ROMが普及し始めた頃で、いわばようやくマルチメディアが一般的に認知され始めた頃です。このマルチメディアの領域にMIDIや電子楽器、音響の領域を広めていき産業全体の中での電子楽器、電子音響の地位向上を目的としてマルチメディア推進委員会が誕生いたしました。

マルチメディア推進委員会では2つの部会に分かれておりました。人材育成部会としてマルチメディアテキスト音響音楽編（CD-ROMテキスト）の作成などをおこないました。また技術部会として当時の最新の技術情報を会員共有するための技術セミナーを年間数回おこなうなどの活動を行ってまいりました。

しかし時代の流れは早く当時は非力であったネットワークも現在はブロードバンド時代となり、大変、普及するようになりました。さらにこれからはADSLから光ファイバーや無線を使ったFTTHの大容量ブロードバンドに移行していこうとしています。

パッケージメディアでは当時まだ珍しかったDVDも今ではビデオデッキ並に普及し、また個人でもDVDビデオを作成することも珍しいことでは無くなりました。

このようにコンテンツの重要性がより高まってまいりました。そこでマルチメディア推進委員会よりも枠を拡大してデジタルコンテンツ制作に関するさまざまな要素を研究テーマとし活動していくため、新たにデジタルコンテンツ推進委員会を提案し、誕生いたしました。

本委員会はブロードバンドコンテンツのあり方、（制作技術的、技術フォーマットの、コンテンツ流通のあり方、ビジネスのあり方、問題点の抽出）に関して調査、分析を行い、ブロードバンドコンテンツ普及、推進を支援することで、社団法人音楽電子事業協会の発展に資していきたいと考えております。



古山俊一委員長

2) 現在のデジタルコンテンツ市場の動向と今後の見通し

コンテンツ市場の現在の動向を知る意味でも、現在のネットワーク関連の状況を思いつくまま書いていきましょう。

4月末のブロードバンド回線数は約427万、このまま増加が続くとすれば、2002年末には700万を突破する計算になります。これらの数字はあくまで回線数であり、家庭のブロードバンド環境を考えると、家族が1本のアクセス回線を共有している場合が多いのです。メディアとしての価値が急速に高まっていると言えるでしょう。

さらに現在、デジタルコンテンツ業界で最も注目を集めていることに「無線のネットワーク」があります。相次ぐ専用線化によって、モバイル型のコンピュータとのデータ共有が難しくなってきました。ユーザーは幾つものメールアドレスをパトシリレーのように転送しながら、メールアドレスの共有を行う人も多く、一つのメールアドレスで、対応することが困難になっています。そこで登場したのが、「ホットスポット」です。これはプロバイダ業者が専用線に使用されているアドレスを無線でも使えるようにしたサービスです。これには、アクセスポイントの整備に巨額な資金が必要になってきますが、チェーン店を展開している、ファーストフード店やコンビニエンスストアなどとアライアンスを組み、アクセスポイントを設備してここに行

けばネットワークにアクセスできるわけです。これらが、モバイル型コンピュータ普及の起爆剤となる可能性も高いのではないのでしょうか。

一方、モバイルといえば、モバイル型コンピュータに対して、PDAまたは、携帯電話も無視できません。PDAに関しては主にビジネスユーズのユーザーが中心ですが、市場の活性化のためには、若者層の取り込みが重要です。これらの普及のためにはキラーコンテンツが必要になってきます。

すでに携帯電話の世界では、着メロを始め、携帯電話を使用したMP-3のプレーヤーなどの出現により、AMEIとは大きくかわっています。同じように今後はモバイル新分野とのかかわりが期待できます。

このように現在、すでにインフラは整っています。これからはそれを何に使うかが問題ではないでしょうか。コンテンツが大変重要な存在になってきます。コンテンツがユーザーに受け入れられ、そのメディアの必要性が高くなれば、さらにインフラはまだ延びていき、より活性化していきます。

デジタルコンテンツ推進委員会としてコンテンツ業界の動向の研究をおこない、これらの研究報告が新しいきっかけを産み出す試金石となればと考えます。

3) デジタルコンテンツ推進委員会の今後の展望と、委員長としての抱負

先ほども書きましたとおりデジタルコンテンツ推進委員会はコンテンツ業界の動向をリサーチしコンテンツビジネス、制作技術、コンテンツ流通など広い分野にわたりブロードバンドコンテンツのあり方を調査や分析を行います。これらが

ブロードバンドコンテンツ普及の一助となるように努力していきたい所存であります。会員皆様のご指導、ご鞭撻をなにとぞよろしくお願いいたします。